



古事記と宇宙

平成 24 年 11 月 23 日 (金・祝) ・24 日 (土)
やまと郡山城ホール

参加者数：両日で 1,200 名

共催：京都大学・京都大学宇宙総合学術研究ユニット

シンポジウム『古事記と宇宙』

11月23日 (金・祝) 13時～

挨拶 松本 紘 (京都大学総長)

講演 鎌田 東二 (京都大学こころの未来研究センター教授)

「古事記と宇宙」

佐々木 節 (京都大学基礎物理学研究所教授)

「宇宙のはじまり：最新宇宙論から」

海部 宣男 (国立天文台名誉教授)

「アジアの星の神話と宇宙観」

ミニ講演 中野 不二男 (京都大学/JAXA)

「宇宙から見た古事記の舞台」

パネルディスカッション

「古事記から現在、そして 1300 年後の未来へ向けて」

【出演】 松本 紘・鎌田 東二・佐々木 節・海部 宣男・

中野 不二男・千田 稔・上田 清

古事記には、古代の日本人の宇宙観や世界観が描かれています。一方、現在の宇宙科学の進歩は、私たちの宇宙観を日々変えつつあります。当市出身の京都大学松本紘総長のご挨拶に引き続き、古代と現在の宇宙観、そして私たちが遠い未来に残すべきことなどについて、各界の先生方に語っていただきました。

冒頭、松本総長が、「科学でもなく非科学でもない、まだ科学になっていない『未科学』の領域に新しいテーマを見つけて人間社会を豊かにするキーがあります。」とご挨拶いただきました。鎌田先生は「古事記は多様な解釈、多様な観点から読み解くことが許される書物。」と。一方、佐々木先生は最新科学の立場から今の人間の持っている宇宙観につながる話を、そして海部先生には神話と科学・宇宙をつなぐお話をさせていただきました。

パネルディスカッションでは、「われわれは、何処から来て（古事記に描かれている宇宙の始まり）何処へ行くのか（最新宇宙科学論）」を焦点に話が進みました。



音楽と語りで楽しむ古事記と宇宙

11月24日(土) 13時～

挨拶 柴田 一成 (京都大学大学院理学研究科教授)

宇宙落語 「ボイジャーファミリー」 林家 染二 (落語家)

ミニ講演 「宇宙科学と文化」 磯部 洋明 (京都大学特定講師)

音楽と宇宙映像で感じる古事記 喜多郎 (ミュージシャン)・柴田 一成

若者から未来へのメッセージ 喜多郎・柴田 一成・上田市長

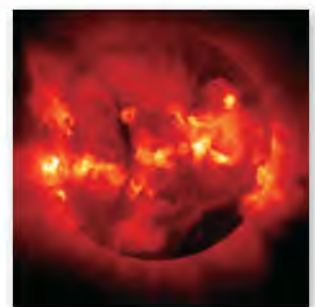
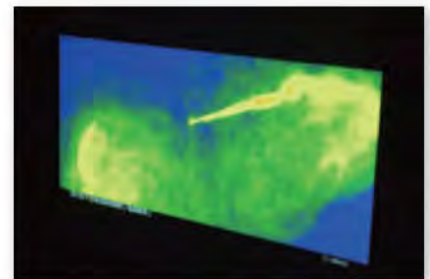
奈良工業高等専門学校生を交えて

(電子制御工学科4年: 稲谷 明宏・後藤 毅朗・海本 祐真・音田 恭宏・
西川 祐豊・徳田 三恵春・北野 和哉・真田 祐作)

まずは、抽選で宇宙旅行が当たった家族の話という、奇想天外な宇宙落語に大笑いで1日がはじまりました。

喜多郎さんの楽曲「古事記」は、古事記と宇宙の関わりを見事に音楽で表現したものの。その楽曲から連想されるイメージを、古事記の内容も考慮しつつ編集した宇宙映像とのコラボレーションを、喜多郎さんの生演奏もまじえて楽しんでいただきました。この音楽と映像の融合の試みは、多くの参加者の心を打ち、「映像と音楽の作品は、とても美しく太陽系の惑星や黎明の場面は涙がこぼれる程、感動しました」「映像と音楽のマッチングがすばらしかった。まさに『古事記と宇宙』。ぜひDVDにしてほしい。」(参加者アンケートより)などの感動のご意見をいただきました。尚、構成・編集に関しては、京都大学学術情報メディアセンターコンテンツ作成室、資料提供は京都大学大学院理学研究科附属天文台の先生方をはじめ、自然写真家の牛山俊男さんなど、たくさんの方のご協力をいただきました。

最後に行われた「若者から未来へのメッセージ」と題したディスカッションでは、事前に自分たちの「1300年後に残したい物」のプレゼンを用意した高専生8名が自分たちの意見を発表(事前授業は次ページ記載)。「1300年後には個人個人の生き方が尊重される『やるき主義』が表れる。」「血を流さない情報戦争がはじまり、ネット社会、ロボット社会が発達、宇宙での生活が始まっている」「1300年後にのこしておきたい物は『ネットの情報』『花見や花火』『金魚や金魚すくい』と。大人のパネラーたちと討論を重ねました。「どんなに科学が発展しても、人間が考えることをわすれてはいけない」「人間が作り、残してきたものへの感謝をつたえていかなければいけない」といった意見が飛び交いました。参加者の方からは「日々、情報に流されてしまいそうになるが、『考えることをやめてはいけない』ということを改めて意識でき、ありがたかった」(参加者アンケートより)などの感想をいただきました。



JAXA宇宙教室コスミックカレッジ

11月24日(土) 10時~12時

やまと郡山城ホール レセプションホール

参加者数：小学3~6年生とその保護者 27組

JAXA 宇宙航空研究開発機構の協力を得て、実験や古事記を通して宇宙を体験する親子で楽しめる教室を開催しました。

体験を通じて、図鑑ではわからない宇宙の広さが体感でき、宇宙の歴史も学ぶことができました。「空間的にも、時間的にも宇宙のスケールを肌で感じることができました」(参加者アンケートより)などの感想をいただきました。



宇宙から見た古事記の舞台

11月23日(金・祝) 12時~18時/24日(土) 10時~17時

やまと郡山城ホール 展示室

協力：(株)リモートセンシング技術センター (RESTEC)

宇宙開発利用が進む現代では、日本の「だいち」などの人工衛星に搭載した観測機器で、宇宙から地球を観測することにより、詳細な地形データや地質、植生など様々なデータを得ることができます。最新宇宙科学の目で見た古事記の舞台をご覧ください。



奈良高専への出張授業

11月1日(木) 13時~

「未来へのメッセージ」の発表に向け、事前に京大宇宙総合学研究ユニットの磯部特定講師による、奈良高専への出張授業が行われました。

磯部講師はビッグバンから現在、そして1300年後の宇宙の歴史について説明。参加してくれた電子制御工学科の8人の生徒は、その話をもとに意見を出し合いました。

生徒たちは、その後も何度もミーティングを繰り返し、24日の本番に向けて、1300年後の世界はどうなっているか、1300年後の子孫に何を伝えたいか、情報をどのように残せばいいかなど、自分たちの意見をまとめてくれました。

担当の上田先生は「大勢の前で自分たちの意見を発表できる、とてもいい機会になりました」と話していただきました。



その他の関連事業

賣太神社古事記撰上1300年奉祝祭

- 日 時：4月30日(月・祝) 10時～
- 場 所：賣太神社
- 内 容：お渡り・祭典・一人劇・踊りなど

稗田阿礼を祀る賣太神社で、1300年の節目を祝い、古事記に流れる「日本のこころ」を語り継いでいこうと奉祝祭を開催。稚児行列や、一人語り(やすきひろこ)などが行われました。



古事記の新たな世界

奈良県立橿原考古学研究所と大和郡山市教育委員会の共催で、公開講演会が開催されました。

- 日 時：11月3日(土・祝) 13時～
- 場 所：やまと郡山城ホール大ホール
- 講 演：前園実知雄さん 「古事記編者太安万侶墓の発掘からわかること」
今尾 文昭さん 「考古学からみた古事記の世界」
千田 稔さん 「天武天皇と古事記」



大和郡山から歴史の風が吹く

第16回地震・火災フォーラム「大和郡山から歴史の風が吹く “言の葉遺産”の魅力を語ろう」が開催された。映画監督の篠原正浩さんの基調講演に続くパネルディスカッションには、当実行委員会橋本弘隆委員長がパネラーとして出演。

- 日 時：11月17日(土) 13時～
- 場 所：イオンモール大和郡山2F イオンホール



大和郡山産純米酒『こをろこをろ』発売

市内の遊休農地を活用したお米(ヤマダニシキ)から作った純米酒。

『語り部のつぶやき こをろこをろ』と銘々され、中谷酒造より発売されました。ラベルの題字は高岡哲也さん。



第21回郡山女のまつり

2月26日(日)

テーマ

『古事記(ふることぶみ)1300年～和の心再発見!』



郡山女性ネットワークが毎年開催している「郡山女のまつり」。平成24年はテーマを「古事記1300年～和の心再発見」として開催。

平和公民館まつり

書道クラブ展『古事記』

平成23年11月16日



古事記の中から好きな言葉や字を選んで作品を制作。事前に講師を招いて古事記の勉強会も行いました。(2012年の幕開け前に、市民のみなさんの間から盛り上がりがありました)

第83回 阿礼祭

8月16日(木)



昭和5年から毎年続いてきた阿礼祭。祭典や阿礼踊りの奉納などが行われました。

稗田の阿礼さまの

鎮守の杜のお話フェスティバル

8月16日(木)



今年は、1300年祭を記念して、阿礼祭の日の午後、賣太神社で、奈良県童話連盟・大阪府児童文化研究会主催の「稗田の阿礼さまの鎮守の杜お話フェスティバル」が開催されました。紙芝居・腹話術・人形劇など、子どもからおとなまで、真剣に見入っていました。

古事記輪読会

平成23年9月12日

1人ずつ順に古事記を分担し音読する輪読会。稗田阿礼を祀る賣太神社で開催され、上中下巻を完読しました。



古事記 1300 年紀事業実行委員会

役職	所属団体名	氏名	備考
特別顧問	奈良県立図書館情報館長	千田 稔	
特別顧問	劇団カムカムミニキーナ主宰	松村 武	

役職	所属団体名	氏名	備考
委員長	奈良県立医科大学副理事長	橋本 弘隆	委員長
副委員長	大和郡山市女性ネットワーク会長	亀岡 静代	副委員長
監事	大和郡山市文化財審議会会長	長田 光男	監事
委員	地域プランナー・コーディネータ/ 天理市環境経済部参与	井ノ本 直三	
委員	平和地区自治連合会会長	上田 房雄	
委員	大和郡山市観光協会事務局長	田中 利明	H24.4.1 から
委員	奈良県文化観光局 ならの魅力創造課長	谷垣 裕子	H24.3.31 まで
委員	奈良県文化観光局 ならの魅力創造課長補佐	永井 聡	H24.4.1 から
委員	大和郡山市副市長	水野 敏正	H24.2.29 まで
委員	ふるさとサポーター/ 奈良県医療管理課主幹	村上 健	
委員	クリエイティブディレクター	山口 義房	
委員	大和郡山市観光協会事務局長	山下 正樹	H24.3.31 まで
委員	大和郡山市副市長	吉村 安伸	H24.3.1 から
委員	大和郡山市地域振興課長	徳田 耕一	
委員	大和郡山市生涯学習課文化財係長	服部 伊久男	